

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	津市家庭教育支援チーム (呼称:こどもの健康支援チーム(CHeST)) URL: https://www.chestwith.org/
②活動拠点	公民館、市民センター、子育て支援センターなど
③活動範囲	主に津市内
④組織体制	12人 小児科医師1人、保健師5人、助産師2人、保育士4人 活動内容により、随時サポーター(元教員、ピアノ講師など)の応援有り
⑤活動開始年度	令和元年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) こどもの健康支援チーム(チェスト)代表 伊佐地真知子 (TEL)059-232-4357 (E-mail) chest.with@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ↳ <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(個別健康相談)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容

【具体的な活動内容】

就園前の乳幼児を育てる保護者等に対して、感染症・予防接種、発育・発達、育児等に関する専門職による正しい情報を提供するとともに、個別相談を実施することにより、安心して子育てができる環境づくりを行うことを目的としている。主な活動内容は以下のとおり。

1. 「育児を楽しむ親子のつどい」の開催

津市内を3地区に分け、年2回ずつ開催している。医師によるミニ講座、最新の子育てに関する情報提供、保健師によるグループワークを取り入れた意見交換、助産師による母乳育児等の相談対応、保育士による入園に関する相談対応の他、紙芝居・手遊び・親子で楽しむ歌とダンスなども取り入れ、参加者の交流の場、子育てを楽しむ場となっている。チェストメンバーが各々の専門性を活かし、子育てに関する悩み事を早期に把握し、対応することで、安心して子育てができるよう支援している。

令和4年度から、小児専門歯科医師による歯磨きの効果的な方法等の講義と実践、理学療法士による保護者の腰痛や腱鞘炎の予防等の講座と実践について学ぶ機会を持っている。

2. 子育て支援センター・子育てサロンでの出張相談

現在、市内子育て支援センター1か所と子育てサロン2か所に定期的な子育て相談に赴いており、その他依頼に応じて、育児等の出張相談を行っている。

3. 「育児を楽しむみんなのつどい」の開催

市内地区社会福祉協議会の依頼を受けて、令和4年から年6回シリーズで開催している。これは、チェストとボランティアグループ等とのコラボレーションイベントとして実施するもので、企画から実施までをチェストが担っている。毎回、絵本の読み聞かせ、人形劇、おもちゃで遊ぶ等のテーマで楽しんでいただき、その後、チェスト小児科医師によるミニ講座、子育てに関する相談等を実施している。

4. 個別のこどもの健康相談

子どもの発育発達等に関して、集団の中では話しにくいと感じている保護者に対して、要望により、公民館で随時個別に面談し対応している。また、メールで子育ての悩みや病気への対応等について相談する方もみえ、随時アドバイスを返信し、不安解消につなげている。

5. ホームページ等による最新情報の提供

近年 SNS 等で間違った情報に惑わされる保護者も多く、正しい情報をすべての保護者に知っていただくために、チェスト独自のホームページを開設し、子どものコロナ対応、ワクチン、熱中症など、最新のトピックスを取り上げ、機会あるごとに啓発している。

令和5年にホームページをリニューアルし、イベント情報、予防対策、トピックス、子育て関連リンク、情報コーナー等を掲載、随時、最新情報に更新している。また、どこの小児科を受診していいかわからないという保護者の要

望に応え、津地区医師会小児科医会の協力を得て、地域で健診や予防接種を中心に診療してみえる小児科クリニックの紹介とともに、可能な先生には趣味やモットー等回答いただき、身近なかかりつけ医の情報提供を行っている。

また、インスタグラムでも活動情報等を紹介し、イベントへの参加を呼びかけている。

6. その他、イベント等参加協力活動

①地域主催の「なかよし祭り」で、子どもの健康に関する情報提供、子育てに関する相談の実施、身長測定の実施

②公民館主催の「ママと赤ちゃんのふれあい教室」での子育て相談とフリートーク対応

③子育て支援センター担当者会議での講義やチェストの活動の周知

7. スタッフ間による最新の専門知識の情報共有

スタッフがさまざまな職種から成り立ち、その専門性も多様であることから、年 4 回、全員が集い、お互いの専門的な最新情報を共有することにより、スキルアップに努めている。

8. その他

①子育てのお役立ち情報(こどもの救急・医療ネットみえ・子どもの救急対応マニュアル・子育て支援センターの QR コード)を掲載したカードを作成し、親子のつどい、地域主催のなかよし祭りなどで配付している。

②親子のつどい等で、測定した身長結果を記入するカードを作成し、保護者に配付している。

【今後の方向性】

上記内容を実施する中で、令和 4 年度から取り組んでいる地域のボランティアグループとのコラボレーションイベントに加え、来年度からは、動画配信で、よりわかりやすい情報提供に取り組むことを計画している。同時にイベント等へのサポーターも広く募集し、さまざまなネットワークの輪を広げ強化していき、地域全体で、子どもにやさしいまちづくりができるよう関係機関に働きかけていきたいと考えている。

1. 行政・民間団体等とのコラボ事業

令和4年度から、NPO 法人、民間団体とのコラボにより、市民センターにおいて、年 6 回シリーズで、子育て教室を実施している。今後は、行政等新たな組織・団体との連携・協働し、市が実施する子育て事業の紹介、保護者の健康管理事業等とも連携していきたい。

2. 保護者の健康管理の重要性

育児を楽しむ親子のつどいでは、身長測定を実施し、こどもの成長を確認している。しかしながら、子育てをする保護者の健康管理こそ重要と考えられることから、令和4年度から理学療法士の協力を得て、子育て中の腰痛や腱鞘炎の予防方法等の講座を持つことができた。こうした活動を継続して

	<p>いくとともに、市役所保健師等と協働し、保護者に対する簡単な検査、各種健診等の紹介を行うように調整していきたい。</p> <p>3. 子育て団体等との連携とネットワーク構築</p> <p>現在、子育て支援は行政による活動の他、NPO 法人、ボランティアなど同じような目的で活動する団体組織で実施されている。これらばらばらに活動している団体組織の点と点を結びつけることで、より広く強力なネットワークが構築されると考える。そのため、身近なところからのネットワークづくりを通して、徐々に支援の輪を広げていきたい。</p> <p>また、行政が実施する様々な子育て応援事業の他、親子が安心して利用できるように、親子に配慮したお店や施設、公園等、まちの情報が市民に広く行き渡るように、行政等と連携し、地域全体で子育て支援を応援するまちづくりを目指していきたい。</p> <p>4. ショートビデオの作成</p> <p>忙しい保護者が少しの時間で理解できるようなショートビデオを作成し(チェストの紹介や防災対策、子どもの発熱時の対応等)、ホームページやインスタグラム等 SNS を通して発信していきたいと計画之中である。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参加された保護者からは、楽しかった、勉強になったという言葉があり、また参加したいとの声も聞かれた。当初の目的である、学びの場、相談の場、居場所づくりにつながっていると考える。 2. 個別相談では、深刻な相談内容もあり、保護者をサポートするために重要な機会となっている。 3. チェストから行政・他団体への働きかけにより、互いに協働する事業へと広がりがみられるようになってきた。 4. ホームページのリニューアル、子育て情報を掲載したカードの配布等を通して、子育てに関連する最新情報を発信することができた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 津市における子育て支援活動は公的機関の他、民間団体、NPO 法人等においても実施されており、そうした場に参加する保護者は何等かの支援を受けられている。しかし、そのような場に行けない、孤立した保護者の方を、どのような方法で把握するのかが大きな課題である。行政と各種団体等との隙間を埋められるような活動が必要と考える。 2. チェストの活動を重ねるにつれ、参加された方は満足され、頻回利用者も見られるようになってきた。イベント開催にあたっては、関係する施設等にチラシを配付しているが、新たな参加者を募るための工夫が必要である。また、ホームページの健康関連情報や子育て情報カード等を活用した情報発信を如何にキャッチしてもらうかが重要である。 3. チェストの活動に広がりが出てきたことから、事業の企画から準備、実施

	<p>までの作業量が増大してきた。チェストメンバー各々の役割等を分担し、作業量が偏らないような工夫が必要である。</p> <p>4. 若い保護者は SNS や動画を重視する傾向にあり、啓発方法についても検討していかなければならない。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()</p>